



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4151 号 2018.1.20 発行



**AIスピーカー、住宅・家電メーカー対応急ぐ...大和ハウス、パナソニック**  
産経新聞 2018年1月19日  
大和ハウス工業が新住宅に取り入れる予定の「**グーグルホーム**」(中央)。声をかけるとカーテンを開けたり照明をつけたりする仕組みだ=1月22日、大阪市吹田市の住宅展示場

スピーカーに話しかけるとネットを検索したり、音楽をかけてくれたり...。人工知能(AI)を使い、音声を認識して作動する「AIスピーカー」。昨年は国内で各社が販売を始めた「AIスピーカー元年」といわれ、住宅メーカーや家電メーカーは今年、AIスピーカーを取り入れた住宅販売などに力を入れている。平成37年度には今年度の9倍以上の165億円の市場になるとの予想もある。(織田淳嗣)

「オーケーグーグル、朝の準備お願い」。声をかけるとカーテンが開き、照明が点灯しエアコンが作動する。

大和ハウス工業は昨年11月、米グーグル社のAIスピーカー「**グーグルホーム**」を活用したモデルハウスを東京と大阪で展示。今月にはAIスピーカーを住宅設備や家電と接続し、「**ダイワコネクト**」のブランド名で住宅を商品化した。

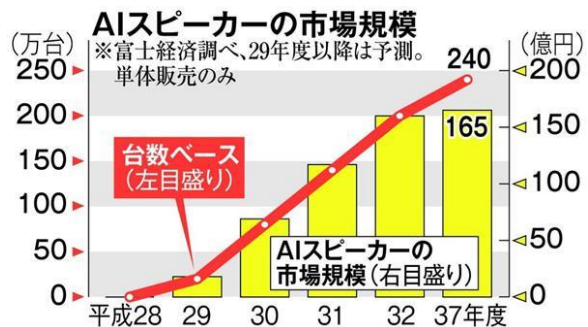
同社の住宅事業推進部長(西日本地区担当)の和田哲郎・執行役員は「**ダイワコネクト**」を皮切りに、あらゆるものが無線接続する『**コネクテッドホーム市場**』を創出し、リーディングカンパニーになりたい」と意気込む。

パナソニックは、太陽光発電機器と家電を接続し、節電につなげる家庭用エネルギー管理システム(HEMS)の新製品を3月に発売。30年度中にグーグルホームと接続できるようにする。「おやすみなさい」と話しかければ、エアコンや照明が消えるなど、暮らしの利便性が高められる。広報担当者は「AIスピーカーの導入に早めに取り組み、他社との差別化を図りたい」と話す。

AIスピーカー業界では「日本人は声を出して家電に語りかけることには気恥ずかしさがあり、普及の障壁になっている」との指摘もあるが、利便性の向上次第で市場が大きく広がる可能性がある。

AIスピーカーは米国で研究が進められ、通販大手のアマゾンが「**エコー**」を2015年に米国で一般販売。日本では昨年11月に出荷が始まり、グーグルホームとともに、無料通話アプリを提供するライン(東京)は「**クローバウェイブ**」を同10月に発売。日本では昨年がAIスピーカー「元年」といわれた。

調査会社の富士経済によると、平成29年度のAIスピーカーの市場は20万台で18



億円程度。37年度には165億円に伸びると予想している。同社担当者は「家電操作やオンラインサービスなどの機能が利用可能になり、ユーザーの裾（すそ）野（の）拡大が期待される」と分析する。

### 障害事業所運営の法人、名産品開発 地域の企業とタッグ（東京・町田市）

福祉新聞 2018年01月19日 編集部  
佐藤理事長（左奥）、高井事務局長（右奥）と放課後デイの子どもたち。袋は子どもたちのデザイン

東京都町田市で障害者支援事業所を運営するNPO法人「プラナス」（佐藤いづみ理事長）は、地域の商工会議所などと連携した商品開発を行っている。いま力を入れているのはキャンディー。地域の名産品を生み出すことで、自分たちの事



業をアピールするのが狙いだという。

プラナスが2013年9月から販売している「まちだシルクメロンキャンディー」は本物のメロンを使用しており、上品な甘みと香りが口に広がるのが特徴という。素材を生かせるよう、直火釜による手づくり製法が可能な業者と協力しながら開発した。

#### キャンディーと袋

きっかけは地域のお祭りへの出店だった。町田商工会議所とつながったことで、

網目が薄く店頭には並ばないメロンなどを卸してもらえることになった。

というのも、町田商工会議所は09年から、市内外の企業と連携し、まちだシルクメロンの水耕栽培に着手。糖度が高く、通常よりも収穫率の高いメロンを開発した。担当者は「メロンの関連商品を地域で広げ、雇用創出にもつなげるのが狙い」と語る。新分野のビジネスとして視察も絶えないという。

次にプラナスが取り組んだのが、しょうゆのキャンディー。「日本一しょうゆ」を作る（株）岡直三郎商店の本社が町田市にあることから、連携を打診した。

創業230年の同社のしょうゆは、代々受け継がれた大型木おけを使い、職人が1年かけて熟成させる。天然醸造で、まろやかな風味が特徴だ。同社の岡資治社長は「地域のためになればと製品化を承諾した。しょうゆの香ばしい味がくせになりますよ」と話す。

いずれのキャンディーも12個入りで300円。町田市役所内のコンビニや物産店など10店舗で販売しており、月に300個以上売れるという。

プラナスは放課後等デイサービスや生活介護などを行う事業所で、利用者が製品を作るわけではない。高井大輔・事務局長は「商品開発は地域で障害のある人たちの存在を知ってほしいから。品質の高い名産品を目指したい」と意気込む。今後も地域の企業との連携を模索する方針だという。

### 愛知労働局 障害者に賃金不払い容疑 業者を書類送検 毎日新聞 2018年1月19日

愛知労働局は19日、国から補助金を受け、障害者が働きながら技術を身に付ける「就労継続支援A型事業所」の従業員12人に賃金を支払わなかったとして、最低賃金法違反の疑いで、障害福祉サービス会社「障がい者支援機構」（名古屋市、破産手続き中）と同社

の男性社長（５７）を名古屋区検に書類送検した。

### 人生の最期 話し合ってみませんか？

人生の最期をどこで迎えたいか、考えたことはありますか？厚生労働省はこのほど、終末期医療のガイドラインの案をまとめました。病気になり回復の見込みがなくなった時の治療やケアは誰がどのように決めればよいのでしょうか。（社会部記者 本多ひろみ）

#### “自宅で最期を迎えたい”

「最期は『家の布団の上』で迎えたい」福井市に住む小林香代子さん（８９）

が、繰り返し家族に伝えていた言葉です。小林さんは医師から老衰の末期の状態と言われ、寝たきりの状態が続いています。認知症になり、自分の意思を明確に伝えることもできません。それでも長男の雅人さんと妻の恭子さん夫妻は、自宅で最期をみとる決断をしまし



NHKニュース 2018年1月19日



た。

小林香代子さん

#### 決め手は“ACP”

その決め手となったのは「アドバンス・ケア・プランニング」、略して“ACP”という取り組みです。人生の最期に、自分がどこでどんな治療を受けたいか、それにどんなサポートを望んでいるかを、家族や主治医などと元気づちから繰り返し話し合うことです。

「最期は家がいい」——小林さんは認知症の症状が進行していない頃から、自分の思いを周りに伝え、その内容はノートに残されていました。

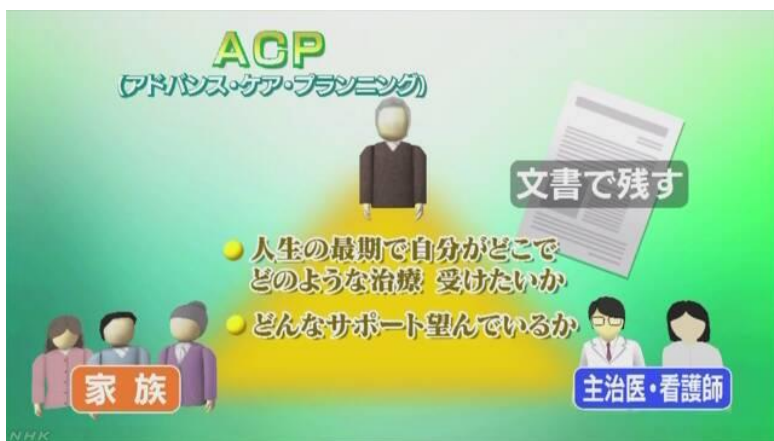
#### 希望どおりにいかない終末期

小林さんのように住み慣れた自宅で最期を迎えたいという人は大勢います。

平成24年に内閣府が行った調査では「治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか」尋ねたところ、自宅と答えた人は54%

に上りました。しかし実際はおととし亡くなった人の74%が病院で最期を迎え、自宅は13%にとどまっています。本人の希望が家族に伝わっておらず、容体が悪化して救急車で病院に運ばれ、そこで亡くなる人も多いと見られています。

#### ガイドラインを改定





そこで厚生労働省は住み慣れた自宅で治療を受けるための手順を明確にするため、ガイドラインを改定することにしました。

その柱となったのが福井市の小林さんが実践した取り組み、“ACP”です。自分の希望を繰り返し家族や医師に伝え、そのつど、内容を文書で残しておくこととしています。このガイドラインの改定はことし3月までに行われる見通しです。



### ACPは家族の強い支え

ただ、自宅で最期を迎えるためには家族などのサポートが必要不可欠になってきます。

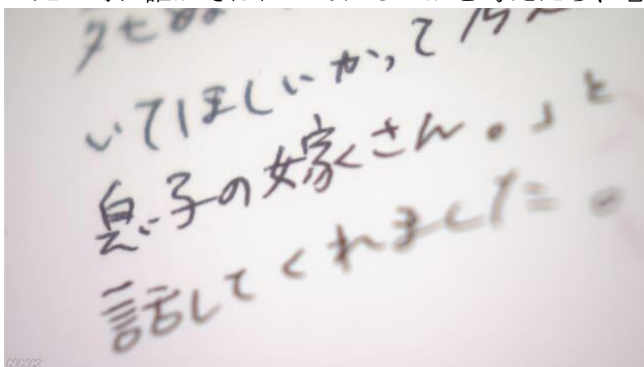
在宅医療を選択した福井市の小林香代子さんの長男、雅人さんは、仕事のため家をあけることが多く、妻の恭子さんに大きな負担がかかるのではと不安を感じていました。

実際、恭子さんは食事や着替えなど生活の多くを支え、時にははつきりもの

を言う小林さんと言い争いをすることもあったといいます。怒りがこみ上げ「もう自宅では面倒は見られない」と思ったこともありました。

しかしある時、小林さんのノートを見て気持ちが変わりました。

「死ぬ時に誰がそばにいてほしいかと考えたら、息子の嫁さん」



小林さんがヘルパーに伝えた言葉がノートに書かれていて、恭子さんは思わず涙があふれたといいます。患者本人の強い希望は介護を担う家族の強い支えにもなるのです。

### 国の狙いはもう1つ

ガイドラインを改定し在宅医療を進めようという厚生労働省。その狙いは本人の希望をかなえることとは別に、もう1つあります。

日本は世界でも例を見ない高齢化が進んでいて、今後、亡くなる人が大幅に増えると予測されています。22年後の2040年には年間の死亡者が現在より30万人以上多い166万人余りになるという推計もあります。

この場合、病院の受け入れ体制が追いつかなくなるのではないかという懸念があり、希望する人はできるだけ自宅で最期を迎えてもらおうというのです。

ただ、在宅医療を進めるためには介護する家族の負担を軽減する医師や看護師、それにヘルパーなどのサポートが欠かせません。福井市の小林香代子さんの長男夫婦も「支えてくれる医師やヘルパーがいなかったら、そもそも自宅で介護はできなかったと思う」と話して

いました。

### 紅谷浩之医師

こうした在宅医療を手がける人材を増やしていくことは国や自治体にとって大きな課題です。小林さんの主治医で長年、ACPに取り組んできたオレンジホームケアクリニックの紅谷浩之医師は、「患者が在宅医療を選びやすくするためには、訪問診療を行う医師を増やしていく必要があります、体制をどのよ



うに充実させていくかも検討が必要だ」と話しています。

#### 日常の会話の中で自然と

小林さんのようにふだんから人生の最期について話し合ったりノートに記録している人は3%とごくわずかです。

「こんな人と結婚したい」「家をどこに買おうか」

そんな日常の中で交わす会話と同じような感覚で人生の最期について家族や大切な人と話し合ってみませんか？人生の最期を決めるのは、あなた自身です。

#### 相模原事件の問題点、障害者ら思い語る

大分合同新聞 2018年1月19日



#### 「思いを共有したい」と話す豆塚エリさん

相模原市の知的障害者施設で2016年7月に起きた殺傷事件について、障害のある人や家族らが思いを伝え合う「第2回相模原事件を考えるシンポジウム」が28日午後1時半から大分市大津町の県総合社会福祉会館である。誰でも無料で参加できる。

障害のある人や支援者らでつくる「だれもが安心して暮らせる大分県をつくる会」などの主催。当事者や施設関係者、教育関係者ら約10人が事件をどう受け止め、気持ちを整理しているのかを発表する。

登壇者の一人、車椅子で生活する豆塚エリさん(24)＝別府市、作家＝は昨夏、事件を扱ったテレビ番組に出演した。犯人に同調するような意見が番組に寄せられ、根深い問題があると痛感したという。シンポ当日は、事件後の世間の反応などを振り返りながら、障害について思いを伝える予定。

申し込み不要。問い合わせは、在宅障害者支援ネットワーク(TEL097・513・2313)。

#### 長期ストレスでがん危険増 男性のみ、女性は関連なく 西日本新聞 2018年01月20日

長期にわたりストレスが多いと感じている中年男性は、がんになるリスクが2割高くなるとの研究結果を、国立がん研究センターなどのチームが19日までに発表した。女性ではストレスとがんの関係はみられなかった。

ストレスの多い男性は飲酒や喫煙量も多くなり、がんに結びついた可能性もあるが、原因は特定できていない。がんセンターの津金昌一郎・社会と健康研究センター長は「いざれにせよ適切にストレスに対処することが大切だ」と話している。

チームは40～69歳の男女約8万人を対象に1990年代の研究参加時と5年後の2回、日ごろ感じるストレスが少ないか、普通か、多いかを尋ねた。

#### 近鉄ホーム柵試験 関西大手私鉄で初

読売新聞 2018年01月19日



公開された近鉄大阪阿部野橋駅のホームドア(19日午前1時34分、大阪市阿倍野区で)＝里見研撮影

近鉄は19日未明、大阪阿部野橋駅(大阪市阿倍野区)で20日から試験運用を始めるホームドア(ホーム柵)を報道陣に公開した。運用上の課題を検証したうえで、2018年度中の導入を目指す。試験運用は関西の大手私鉄では初めて。

設置されたのはロープが上下する昇降式で、普段は8

本のロープが水平に張られ列車到着時のみロープが上がる仕組み。準急や急行が発着する4番線の乗車ホームに1両分設置された。同駅は1日の利用者が同社最多の約16万人に上る。

試験は当面の間行い、18年度中に二つのホームに設置予定。利用者の多い大阪難波駅（同市中央区）などでも設置を検討している。

近鉄の河内国分駅（大阪府柏原市）で16年10月、視覚障害者の男性が線路に落ち、電車にはねられて死亡するなど転落事故は全国で頻発している。近鉄以外の関西の大手私鉄も設置を進める方針だ。JR西日本は一部の駅に設置している。

#### リレーに障害者も参加可 6月のびわ湖トライアスロン 中日新聞 2018年1月20日

大会をPRする（左から）辻実行委員長、宇田選手ら＝近江八幡市桜宮町で



はちまん青年経営者会や近江八幡市トライアスロン協会などで作る「びわ湖トライアスロンin近江八幡」実行委員会は十九日、第四回大会（中日新聞社後援）を六月十七日に同市の宮ヶ浜などで開くと発表した。二十日から大会のホームページで出場申し込みを受け付ける。

健常者だけでなく障害者にも門戸を広げており、今回からはスイム・バイク・ランの三種目に三選手が交代で挑むリレー部門に、障害者が健常者とチームを組んで出られる。日本トライアスロン連合公認の大会では初めてという。

市内で記者会見した辻雄一実行委員長は「三種目全てをこなすのは困難だった障害者でも、一種目だけなら挑戦してみたい人はいる。そうした人たちにも門戸を開きたい」と述べた。

第一回大会からパラ（障害者）部門に出ている宇田秀生選手（30）＝甲賀市＝も同席し、「いろんな障害のある人たちに挑戦してもらいたい」と出場を呼び掛けた。（平井剛）

#### さいたまでパラリンピック選手発掘イベント 日本経済新聞 2018年1月19日

日本障がい者スポーツ協会は2月4日、埼玉県障害者交流センター（さいたま市）で、競技に取り組んでいる下肢に障害がある人を対象にパラリンピックの有望アスリートを発掘する「“競技転向”ねらえパラリンピック！」を開催する。体力測定や適性検査などを実施し、能力に適した競技を探してもらおう。

陸上競技やアーチェリー、バドミントンなど19の競技団体が集まり、午前10時半～午後4時に、体力測定や競技別の適性検査、個別相談会などを実施する。競技転向の機会を提供し、パラリンピックでメダル獲得をねらえる有望アスリートを見つけることをめざす。

埼玉県で開催するのは初めて。1月21日までウェブエントリー（<http://dgent.jp/e.asp?no=1701074>）で参加を受け付けている。後援する埼玉県障害者福祉推進課は「自分に合った競技を見つけて活躍してほしい」と話している。

#### 宇都宮短大に音楽療法士コース 痛み緩和や認知症ケアに効果

下野新聞 2018年1月20日

認知症の高齢者や病床の患者、障害者らに寄り添い、音や曲を通じてリハビリなどを行う音楽療法士。宇都宮短大（宇都宮市下荒針町）には県内唯一の音楽療法士専攻コースがあり、卒業生は福祉施設など活動の場を広げている。痛みの緩和、記憶の喚起…。効果は



認められているが、知名度は高くない。同短大は「超高齢化社会でますます必要とされる職業」と養成に力を注ぐ。

「あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな」。歌手千昌夫（せんまさお）さんのヒット曲「北国の春」を、お年寄りが懐かしそうに歌う。歌詞を思い出すように目をつむる人や、うっすらと涙を浮かべる人も。



老人ホームで入所者と一緒に楽器を演奏する高野さん＝4日午後、宇都宮市内

今月4日午後、宇都宮市内の特別養護老人ホーム。「次は一緒に楽器を鳴らしてみましよう」。ピアノで伴奏しながら、音楽療法士の高野由紀子（たかのゆきこ）さん（46）が入所者約20人に呼び掛けた。

ホーム職員は「普段は部屋にこもりがちな人が音楽療法の日にはカレンダーに印を付け、服も着替えて待っているほど。笑顔が増えた人も多い」と効果を語る。

高野さんは長女に自閉症があることをきっかけに音楽療法に興味を持ち、2008年に同短大の専攻コースを卒業。当初数カ所だった活動施設は現在、県内外の11カ所に広がった。鈴や太鼓など多彩な楽器を抱えて赴き、心身の障害の回復、生活の質の向上などに取り組んでいる。

音楽療法は第1次、第2次世界大戦で心身が傷ついた兵士の治療のために米国で発達した。日本では1960～80年代にかけて複数の研究会が立ち上がり、精神疾患のリハビリや障害児ケアなどに導入された。

## 「元本減った」高齢者トラブル絶えず 銀行窓口販売の「外貨建て保険」

産経新聞 2018年1月19日



銀行窓口で販売する保険商品をめぐって、トラブルが絶えない。特に、投資性の高い一時払い保険「外貨建て保険」に対し、高齢者を中心に「元本保証だと思っていたのに損失が生じた」といった相談が寄せられているという。相談件数も多く、国民生活センターが注意を呼びかけている。（飯田耕司）

銀行窓口で保険商品の販売が全面解禁されてから、昨年12月で10年。一時払いの外貨建て保険のトラブルが目立ち始めた。

外貨建て保険は、年金や終身があり、顧客から預かった資金を利回りの高い米国債や豪州債などで運用する。保険金や年金、解約返戻金などは外貨で受け取る。ただ、為替相場が円安になれば受け取る資産がかさ上げされる半面、円高ドル安になれば目減りすることになる。このため、投資型商品としての側面が強い。

この外貨建て保険をめぐって、国民生活センターには相談が相次いでいる。

「相続税対策として勧められた。元本保証と思っていたら、変額終身保険で、300万円ほど元本が減った」（80代女性）

「解約しようとしたら、40万円ほど損をするといわれた」（70代女性）

「払い込みの金額にプラスした金額を受け取れると思っていたが9割しか受け取れなかった。苦情を伝えたら『当時の職員は退職した。損失補償はできない』といわれた」（50代男性）

といった内容で、平成29年4～11月は前年同月比3割減となったものの、229件と高水準に変わりはないという。相談の多くが高齢者で、全体の8割近くに上っている。

また、高齢者の親族からの相談も多く、「株取引もしたことがないのに外貨建て保険を勧められた」「銀行は為替リスクがあることを説明したというが、本人が理解しているとは思えないまま契約させた」といった苦情もきているという。

国民生活センターは、保険契約していること自体に消費者の理解が得られていない▽消費者の希望に合っていない保険の勧誘や契約が行われている▽中途解約時や満期時もトラブルになりやすい▽外貨建て保険は、クーリング・オフしても損失が生じる可能性がある一ことが問題点だと指摘。消費者に対し、「内容が分からなければ契約はしないことや、リスクや契約期間の確認をすべきだ」と注意を呼びかけている。

背景には、日銀のマイナス金利政策の影響で、利ざやが確保できないかわりに、保険商品を保険会社の代わりに「代理販売」することで、販売手数料を稼ぎたいという銀行側の思惑も透けてみえる。金融庁は、銀行が生命保険会社から受け取る手数料が高い保険を優先して販売している可能性もあるとして、販売手数料を商品別に開示するなどの対策を打ち出しているが、「投資性商品と説明して販売していないならば問題」として動向を注視していく方針だ。

### シニア世代の挑戦に密着 カンテレ「60を超えてお初です」



大阪日日新聞 2018年1月19日  
60歳を過ぎてのさまざまな初挑戦に、モニターを見ながら感想を述べる久本(右)と又吉

開局60周年の節目を迎えたカンテレは一風変わった特別番組「60を超えてお初です」(20日午後3時から)を、久本雅美(59)と小説「火花」で芥川賞を受けたタレント又吉直樹(37)を進行役に放送する。

60歳を超えたシニア世代が、「今更恥ずかしい…」とためらう“人生初”の体験をしてもらうための後押しがコンセプト。その“お初”に密着し、記念すべき瞬間に迫るバラエティー仕立てになっている。

厚切り極上牛肉を味わったことがない鶏肉販売会社社長をはじめ、とろろやシイタケなど皆が普段食べている食材を“食わず嫌い”で避けてきた人たちが登場。60代から80歳を過ぎた人たちが、さまざまなリアクションを見せる。進行役の2人も、意外な物に感激して口にした過去など、ほろ苦い思い出を語る。

また波乃久里子が、72歳になってまさかの手料理初体験。十七代目中村勘三郎の娘で、「これまですべてお手伝いさんに任せてきた」という生粋のお嬢様が、大好物の「幕の内弁当」を作ること。スーパーでの食材選びから、炊飯器や包丁の使い方まで、とにかくすべてが“お初”のチャレンジに完全密着。まさかのサプライズ結末とは？

「人の幸福感って分からんもんやな〜！」と久本。7月に60歳になることから「長年の憧れ」という“お初”に自らも挑む。「小さなことから大きなことまで、ちょっと笑ってしまうことから、グッと涙が出る感動的なものまで。元気が出る番組」とPR。又吉も「笑いながら見ている内に感動して、毎日の楽しみ方を教えてもらえた」とほっこり。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

